

特集

異文化に触れ、未来を描く

オーストラリア ケアンズ訪問  
第19回 中学生海外派遣

町では町内中学校の2年生を対象に、現地の生徒や家族との交流を通じて生活や文化に触れるとともに、外国語による表現と理解を高め、国際感覚豊かな青少年の育成と国際交流の推進を図ることを目的として、中学生を海外に派遣しています。

今年度は、8月3日から10日までの8日間、生徒22名がオーストラリアのケアンズに派遣されました。

生徒たちは現地で、学校訪問による授業参加や、ホームステイを体験しました。日本とは違う言語や生活習慣、文化に触れ、ホストファミリーや現地の中学生との交流を通して、「コミュニケーション」の大切さを肌で実感し、様々な人たちの温かな支えによって、多くのことを学んで帰国しました。

参加した生徒の皆さんに、アンケートをとりましたので、ここに紹介します。



**伊藤 海輝**

①この海外派遣で得たものは何ですか？  
②この海外派遣を自分の将来に、どのように役立てていきますか？  
③今回の研修で一番印象に残っていることを、短歌で表現してください。

と、参加生徒に3つの質問をし、回答をいただきました。

**岸本 開登**

①日本との文化の違いや、英語の難しさを改めて実感できた。自分の将来について考える機会を得ることができた。  
②他国の文化、環境の違いを肌で感じ、グローバルに活躍できる職に就くという強い思いを抱くことができた。  
③異文化で、色々感じた。一週間活かす方法 自分次第

**石和 涼菜**

①自分から話しかける積極性と自分のことは自分でやるという自立心、そして学校の代表であるという責任感。  
②積極的にみんなの前に立ち、責任ある行動をとれるようになった。  
③緊張と期待を胸に、いつか必ず思い出さ課題、見つけてください。

**遠藤 世楽**

①自分の意志を伝えようとする大切さ、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに過ごしていれば、なんとかなる。②英語を話すことの楽しさをたくさんの人に教えて、英語を堂々と話せるようにこれから、もっと勉強したい。  
③異文化の、自然豊かな、海外で言葉遣いを、心伝はる



英語の授業風景



ケアンズ・ステート・ハイスクールで集合写真

**木村 心子**

①自分の英語が伝わったときの嬉しさです。現地の人にも通用する英語を話せると思つて、自信も持てました。  
②これからもっと英語の勉強を頑張りたい。将来は通訳などの英語で活躍できる仕事に就きたいと思えます。  
③頑張つて、身振り手振りで話したり、ちゃんと伝わり、思わず笑顔

**青柳 海斗**

①何に対しても、積極的に行動する力。知っている英語をフル活用して伝え、それが伝わる喜びを得ました。  
②今回学んだ英語力をもっと身につけ、外国人と楽しく話し、日本の良さを伝えていけるようになりたいです。  
③緊張とける、ホストファミリーのやさしさは、癒しの笑顔 一生の宝



美術の授業風景

全日程表		
月日	地名	スケジュール
8/3(金)	上三川町 成田空港(機内泊)	午後3時出発式、その後、成田空港→オーストラリア・ケアンズ(空路)
8/4(土)	ケアンズ着(ホームステイ)	ホストファミリーと対面式ホストファミリーデー
8/5(日)	ケアンズ郊外(ホームステイ)	ホストファミリーデー
8/6(月)	ケアンズ郊外(ホームステイ)	学校訪問・体験授業・英語の語学研修
8/7(火)	ケアンズ郊外(ホームステイ)	学校訪問・体験授業・英語の語学研修
8/8(水)	ケアンズ(ホームステイ)	グリーン島研修(世界遺産グレートバリアリーフ)ホストファミリーとのFarewell Party
8/9(木)	ケアンズ	キュランダ村研修(世界遺産ディンツリーフォレスト及びアボリジニ文化)
8/10(金)	ケアンズ 成田空港 上三川町	ケアンズ→成田空港(空路)、バスで上三川町へ

参加生徒		
所属名	氏名	名前
本郷中学校	伊藤 海輝	いとう かいぎ
	岸本 開登	きしもと かいと
	石和 涼菜	いしわ すずな
	遠藤 世楽	えんどう せら
	木村 心子	きむら みこ
上三川中学校	吉 良 葉	きら しおり
	青柳 海斗	あおやぎ かいと
	林 優 樹	はやし ゆうき
	森 美 咲	もり みさき
	福原 愛 美	ふくはら あいみ
	佐藤 香都佳	さとう ことか
	越阪部 碧 子	おさかべ あおこ
	藤原 香 濃	ふじわら かりん
明治中学校	沼村 亜 希	ぬまむら あき
	熊谷 桂	くまがい かつら
	野 沢 葉	のざわ しおり
	亀山 沙季帆	かめやま さきほ
	眞野 ことは	まの ことは
	小川 蒼 空	おがわ そら
	熊坂 奈 南	くまさか ななみ
高橋 凧 翔	たかはし なぎと	
岩 波 良 依	いわなみ らい	

森 美咲

①英語を聞く力と伝えようという力と自分でなんとかしようという気持ちが高まったと思います。

②将来さらに英語力をみにつけていこうなことを勉強したいです。

③ケアンズで体験した「わすれない私のだいじな一生の思い出」が私のだいじな一生の思い出になりました。

福原 要美

①自分から積極的に「コミュニケーション」を取ろうとする気持ちで海外に対する興味を得ることができました。

②この経験を活かし、更に英語を上達させ、海外と交流ができる職業につきたいと思います。

③ぜひ「コミュニケーション」がなかったその喜びは忘れられないです。

佐藤 香都佳

①全ての人に対して感謝する気持ちを忘れないことや、自分の意志をしっかり伝えることの大切さを学びました。

②将来、英語力をもっと上達させ、いつかこの経験を生かした、職業を選び世界で活躍できる人になりたいです。

③ありがたう、私にくれたその笑顔優しさをくれた AngelFamily

越前部 豊七

①「コミュニケーション能力と臨機応変に対応する力と英語力です。」

②私は将来英語関係の仕事に就きたいと思っているので仕事をすすむときにこの経験を役立てていきたいです。

③学校訪問で、バティと一緒に、昼食を食べ、授業が終わると、また昼食がある。

藤原 香凛

①身振り手振り、単語だけでも伝えたことについて思い出があれば、「コミュニケーション」はこれのことです。

②2020年の東京オリンピックでボランティア活動などを通じて日本の良さを伝えて役立てていきたいです。

③初めての、ホームステイに、多くの不安、訪れてみたら、優しい笑顔



キュランダ村にて

沼村 亜希

①自分で考え、行動に移すという力です。今までで覚えた英語を使うのはもちろん、会話から新出英語も学びました。

②外国人と実際に会話をし、「コミュニケーション能力がついたと思うので、より多くの人と話し、多くを学びたい。」

③お会計、最初はちょっと驚いた1セントだけが、返ってこない。

熊谷 桂

①自分から話したいと思ったことを言葉にできることになりました。前よりも人との話が楽しくなりました。

②オーストラリアの人のように多文化社会の中でそれぞれを尊重できるようにしていきたいです。

③英会話、不安はあるけど、大丈夫大切なのは、笑顔と意欲

野沢 菜

①積極的にジェスチャーを使って、伝えようという気持ちをもちながら「コミュニケーション」を学ぶことの大切さ。

②英語を使って話すのがとても楽しかったので、将来、日本のことをたくさん海外の方に伝えたいです。

③住む国も、話す言葉も違っても、楽しいや優しいさは、変わらないもの

亀山 沙季帆



ホテルにて

亀山 沙季帆

①英語が苦手でも、伝えようとする気持ちがあれば通じることを知りました。積極的に話しかけることができるようになったと思います。

②私は将来人と関わる仕事をしたいため、この経験で得た積極性を生かして英語力、積極性をどんどん伸ばしたいと思っています。

③勇気出し、単語でジェスチャー話しかけ、心の底から、笑顔の絆

眞野 NINA

①何でもチャレンジしてみることの大切さと、海外の文化に触れ、日本の文化の良さにも改めて気づけたことです。

②海外派遣で学んだ「コミュニケーション能力を将来仕事などに生かすため、更に勉強を頑張りたいです。」

③本当の家族のように、迎えられ笑顔あふれる、ホームステイ

小川 蒼空

①言葉を伝える難しさや、日本との文化の違いについて学ぶことができました。

②社会に出たときや、外国人と関わる機会があるときに、考えを伝えられるようにしたい。

③「やむを得ない」の国でも、変わる「溢れる笑顔」

熊坂 奈南

①自分の知っている最大限の英語で会話が通じた時の喜びや、協力し積極的に行動することの大切さ。

②失敗することを恐れず何事も挑戦し、この機会を大切に、もっと英語の能力を向上させたい。

③大切な、伝ええる気持ち、英会話ジェスチャー使、相手に届く

高橋 雁翔

①現地の生徒は、日本の生徒よりも積極性があったので、とても話やすかった。勉強もスポーツも積極性が大切。

②オーストラリアで学んだことを友達に伝えたり、自分の生活に活かしていきたいです。

③初海外、一つひとつ、慣れなくて、支えてくれた、ホストファミリー



スカイレールの前にて

岩波 良依

①新しい英語力を得られました。発音やイントネーションの違いを勉強できました。

②将来、通訳になるために今回勉強になった発音やイントネーションを覚えて世界どこでも通用できる通訳になる。

③帰国して、オーストラリアの思い出と、絆の重み、バッグに感じ

【報告会】

8月23日に、上三川町役場大会議室において帰国報告会を開催しました。

報告会では、町長及び議会関係者に、生徒や引率した先生方から報告がありました。

生徒からは、「積極的に行動することの大切さ」や「英会話は上手にできなくても伝えようと努力することで、思いは伝えることができる」などの報告がありました。

また、「オーストラリアの生活を通して、その文化の良さを知るとともに日本の文化の良さにも気付けた」「学校生活だけでなく、将来大人になってもこの経験を生かし、様々なことにチャレンジしたい」などの発表もありました。

さらに、グリーン島の美しい景色や南半球で見た輝く星空（南十字星）に感動した様子がかげえました。

引率者からは、「現地の中学生と共に学ぶ語学研修で、熱心に取り組むことができた」と生徒を大いに評価する報告がありました。

生徒たちの言葉の一つ一つや表情から、多くの貴重な体験を積んできたことが伝わってきた報告会でした。

【派遣団長報告】

団長 瀧澤 弘子（本郷中学校教頭）

8月3日から8月10日まで8日間の日程で、町内3校の中学生22名とともに、オーストラリアのケアンズを訪れました。

生徒たちはホームステイをしながら、ケアンズ・ステート・ハイスクールを訪問し、英語の特別レッスンを受けたり、実際に授業に参加させていただいたりして、積極的に交流を深めていました。いつの間にか英語での会話が自然に出る生徒の成長には、目を見張るものがありました。

この8日間の研修で生徒たちは、多くの体験の中から、自分から積極的に行動することの大切さを学ぶとともに、お世話になった様々な人たちに感謝の気持ちを持つことができました。今回の研修に参加した生徒たちが、この貴重な体験をそれぞれの中学校でより多くの生徒に還元することで、上三川町の発展に貢献できることを期待しています。本事業を支えてくださいました多くの皆様に深く感謝申し上げます。

▶問い合わせ先＝教育総務課 学校教育係 ☎69156